

## 感謝のうちに「信仰の伝達」～自分の信仰の喜びや素晴らしさから出発～

新年おめでとうございます。

2015 年も、主イエス・キリストからの恵みと平和が、福岡教区民の上に豊かにありますようにお祈り致します。

### 【昨年の取り組み】

福岡教区では、3 年かけて取り組んだ「信仰生涯学習」の成果を踏まえながら、昨年は「信仰の伝達」という目標を掲げました。

それは、フランシスコ教皇が使徒的勧告『福音の喜び』の中で、次のようにご指導してくださっているからです。「キリストとの出会いは、心と生活全体を喜びで満たし、その喜びは常にキリストと共に生み出され、新にされます。喜びと善は常に広がっていくものであり、喜びと善は分かち合うことによって根つき発展するのです。いのちは自分を与えることによって成長しますが、孤立した楽な生活は衰えるだけです。他者にいのちを与える時にこそいのちは得られ、成熟するのです。これが福音宣教です」（使徒的勧告『福音の喜び』1～10参照）と指摘しながら、「現状維持を目的とした司牧から、積極的に宣教する司牧へと移行する必要があります。受身の態勢で教会に人が来るのをただ待つだけではいけません」（15）とのご指導を真摯に受け止めたからです。

フランシスコ教皇のご指導は、福岡教区が優先課題として取り組んでいる『キリストの救いの秘儀を①知り（信仰生涯学習）、②追体験し（典礼祭儀の充実）、③生き（家庭と社会生活での実践）、④伝える（福音化）』というテーマの推奨でもあります。

昨年の「教区の日」には、各小教区や各地区で取り組んだ具体的な活動が中間報告として提示されました。教区の目標に誠心誠意励んでくださっている教区民のご尽力に、心からの感謝と敬意を申し上げます。

### 【今年の取り組み】

今年の福岡教区の目標は、昨年と同様に「信仰の伝達」を繰り返します。

その理由は、「信仰の伝達」は広範囲で多岐に亘る課題であり、世の終わりまで継続すべき目標でもあるからです。

第二の理由は、昨年は、現状とその課題の把握と分析に力を入れましたが、目標の発表が4月であったことや、司祭の移動が多かったことなどが重なり、十分な取り組みが出来たとは言えず、その目標が教区全体に浸透するためには、もう少し時間をかけて取り組む必要があると判断したからです。

### 【信仰の伝達の前提】

信仰の伝達のためには、先ず私たち自らが信仰を通して神様と交わることの素晴らしさを実感していることが必要です。この自覚を大切にしたいと思います。

現状の把握や分析という時、ややもすれば、うまくいっていない問題や課題の原因を他人のせいにするという傾向がありますが、そこからは建設的な事柄は何も生まれません。むしろ、今、現実を実感している自分の信仰の喜びや素晴らしさから出発し、信仰の恵みによる感謝の対象を明確にすることから始めたいと思います。

感謝の雰囲気の中でこそ、大きな恵みに十分に応えきれない自分の不十分さや欠点も見えてきますし、それまでこだわり続けた偏見や独断や人間関係のゆがみなども素直に見つめ直すことが】可能になるからです。

### 【信仰伝達の対象】

感謝を前提にしながら、昨年の取り組みをもう一度再確認したと思います。信仰伝達の対象として、第一は、通常の信仰生活を営んでいる人々。第二は、洗礼を受けているが教会への帰属意識が薄く、信仰による慰めや経験が乏しい人々。第三は、キリストをまだ知らない人々（11 参照）が挙げられます。

このことを念頭に置きながら、①教会での青少年の信仰伝達、②家庭での信仰の伝達、③地域社会の福音化、④教会とのかかわりが乏しい人々への対応、⑤事業所（教育・福祉・司牧センターなど）での信仰伝達にチャレンジしたいと思います。そのためには、現状の把握と分析が大事だと思います。

### 【奉獻生活者の年】

フランシスコ教皇は2014年11月30日から2016年2月2日（主の奉獻）までを『奉獻生活者の年』と決めました。

奉獻生活者とは、「修道会」、「在俗会」、「使徒的生活者の会」に所属する人たちのことです。

「使徒的生活者の会」とはパリ外国宣教会、ミラノ外国宣教会、聖コロンバン会、サン・スルピス会などのように、特別な使命と目的のために特殊な絆で結ばれている共同体のことです。

日本における「信仰の伝達」は、聖フランシスコ・ザビエルを初めとして奉獻生活者によって始まり、続けられたと言っても過言ではないでしょう。信仰は神様からの恵みですが、それは人を通してもたらされます。

奉獻生活者を通してもたらされ、発展し、豊かにされた信仰伝達の営みを見つめ直すことも、教区目標の一つのあり方として意義に適っていると思います。つまり、奉獻生活者の存在意義やその役割の中に、信仰伝達に関する感謝の対象を再発見したいと思います。

【最後に】

今年も来る 11 月 23 日（月）「勤労感謝の日」に「教区の日」を実行します。教区民が司教座聖堂（大名町教会）に集まり、教区目標に取り組んだ 1 年間の活動とその営みをミサ聖祭の中で神様に奉納したいと思います。

カトリック福岡教区司教



ドミニコ宮原良治